

第7回かわさき生ごみリサイクル交流会

～生ごみも資源！農・花・人をつなぐコミュニティへ～

開催日 平成30年12月1日(土)

場所 幸市民館 大会議室

時間 13:30～16:00

参加資格 どなたでもご参加いただけます。

参加費 無料

募集 100名(事前申込制)



【第1部】基調講演

- タイトル 「半径2kmの循環社会」
- 講師 NPO法人循環生活研究所 理事長 たいら 由以子氏

NPO法人循環生活研究所 理事長
たいら 由以子氏

ダンボールコンポストで簡単に生ごみを堆肥化する手法を開発し、福岡市を拠点に全国へ広める活動を行う、NPO法人 循環生活研究所。暮らしと食をつなぐ循環の輪は、ご近所さんの顔が見える半径2kmが理想だと考え、「半径2kmの循環社会(ローカルフードサイクリング)」の構築を、市民と農家、商店、学校、行政などと連携して進めています。ローカルフードサイクリングの取組や海外での生ごみリサイクルの実践例もご紹介します。



【第2部】事例発表

- タイトル 「幸区で実践！わたしたちの生ごみリサイクル」
- 発表団体 夢見緑花会 小倉小学校

問い合わせ：環境局減量推進課 電話044-200-2605 FAX044-200-3923

～川崎市は30・10運動を推奨しています！～

宴会時はおいしく残さず食べきろう！

30・10運動とは…

忘年会や新年会などの宴会時における食べ残しを減らす運動。
乾杯後の「30分間」とお開き前の「10分間」は自席について料理を楽しみ、食品ロスの削減を推進する取組。



【宴会五箇条の推進】

- 其の一 まずは、適量注文
- 其の二 幹事さんから「おいしく食べきろう！」の声かけ
- 其の三 開始30分、終了10分は、席を立たずにしっかり食べる「食べきりタイム！」
- 其の四 食べきれない料理は仲間で分け合おう
- 其の五 それでも、食べきれなかった料理は、お店の方に確認して持ち帰りましょう。

宴会時には、ぜひ30・10運動に取り組んでみてください！